

夢工房ヤンゴン2023

第11号

R.5.7.21

ヤンゴン日本人学校だより

文責：校長 鹿島

園児児童生徒数 幼稚部6名 小学部20名 中学部15名 計41名

明日から夏休み(夏季休業) 8月23(水)まで

4月から夏休みまでの間、日本人学校にご理解、ご支援、ご協力をいただきましてありがとうございました。

コロナ感染症対策を徐々に緩和しながら、学習内容を充実させたり、プール学習を実施したり、校外学習に出かけたりの1学期でした。

(本校は前後期2期制なので正式には1学期ではなく、前期の前半と呼んでいます。)

ヤンゴンでは、まだコロナ感染症がくすぶっているようです。また、インフルエンザや小児の肺炎が流行っているそうです。また、デング熱やマラリアなど蚊が媒介する病気にも注意が必要です。

夏休みは、健康・安全に十分気をつけて、元気に楽しく過ごしてください。長期休業ならではの体験や勉強ができるといいですね。



〈校庭のバナナ〉

夏休みも、「早寝早起き、朝ご飯！」です！！

7月末で、楽しい時間をいっしょに過ごした3人のお友達がヤンゴン日本人学校から転出します。名残惜しいですが、みなんでお友達の新しい学校での活躍をお祈りしましょう！

レーシーさん、5年間ありがとうございました！ 新天地でのご活躍をお祈りします！



5年間、事務の仕事をやらせて頂きましたレイシーです。この度、私事で恐縮ですが、一身上の都合により7月31日をもってヤンゴン日本人学校を退職することになりました。

5年間お世話になったヤンゴン日本人学校の思い出は一生忘れません。保護者の皆様と、授業料についてお話しするときいつも笑顔で優しくお話くださり本当に感謝いたします。

校長先生並びに諸先生方には在職中はいろいろお世話になり、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

生徒の皆さんと直接関わる機会は少なかったですが、私のことを覚えて声をかけてくれたり、校門や玄関や廊下で元気よく挨拶してくれる生徒の皆さんがいて、このヤンゴン日本人学校の皆さんは本当に素晴らしいと思います。これからも勉学や部活動など頑張ってください。応援しています。ありがとうございました。

5年間という短い間ではありましたが、ミャンマースタッフの皆様と事務員様にはご指導、ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。これからもヤンゴン日本人学校が、子どもたちが笑顔で溢れることを心から願っています。

皆様のご健康とご活躍を心からお祈りしております。本当にお世話になりました。

ノーカ・レーシー

中学部 環境問題とリサイクルの講話 講師:Golden Dowa 四方秀樹氏

7月14日(金)



小学部 1, 2年生 生活科 「図書館を学ぼう」 7月20日(木)



ジャパンプラブ：日本人会室でボランティアさんに読み聞かせをさせていただきました。

8月行事予定

1	火		16	水	
2	水		17	木	
3	木		18	金	
4	金		19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	
7	月		22	火	
8	火		23	水	
9	水		24	木	
10	木		25	金	
11	金		26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月		29	火	
15	火		30	水	
			31	木	



※注 G9実力テストは9月5日以降に変更になります。

立秋(りっしゅう)

(『ウィキペディア (Wikipedia)』より)

夏が極まり秋の気配が立ち始める日[1]。

夏至と秋分の中間で、昼夜の長短を基準に季節を区分する場合、この日から立冬の前日までが秋となる。二十四節気が成立した中国内陸部は大陸性気候のためこの頃には徐々に涼しくなり始めるが、海に囲まれた日本列島は立秋を過ぎてもしばらくは猛暑が続く。[2] 立秋からの暑さを「残暑」といい、手紙や文書等の時候の挨拶などで用いられる。また、この日から暑中見舞いではなく残暑見舞いを出すことになる。

処暑（しょしょ）

処暑とは、厳しい暑さの峠を越した頃です。朝夕には涼しい風が吹き、心地よい虫の声が聞こえてきます。暑さが和らぎ、穀物が実り始めますが、同時に台風の子節の到来でもあります。

（暦生活より）

ワソ満月（ワソ満月とも）

ワソ満月のお祭りとは、「雨安居（うあんご）」と呼ばれる雨季の始まりにあたる7月の満月の日に、10月の満月まで続く雨季の期間中に修行に励む僧侶に僧衣を進呈する仏教と結びついた祝日だ。

人々はミャンマー様式の仏塔「パゴダ」を訪れ、その後はそれぞれが娯楽を楽しむという。

（ミャンマーニュースより）